

講義名	19- ドイツ語 /15- ドイツ語初級				授業形態	
担当教員	海老原 由美子	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 2 時限			
		単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング

主題と概要

ドイツ語入門(ドイツ語)で学んだドイツ語を復習しながら、様々な新しい場面での表現を学び、体験学習を重ねます。

ドイツに語学留学した Seiko に自分を重ね合わせ、遠足に行ってみましょう。待ち合わせはどこで、何時に？あるいはまた、パーティーに行ってみましょう。昨日パーティーで何を飲んだの？パーティの後、何をしたの？ 初めて、過去について話せるようになります。

やがて訪れるクリスマス、ジルベスター(大晦日)、新年、ドイツではどんなことをするのでしょうか。日本では？それをどう表現したいの？ 二つの国の人々の祝祭の過ごし方について学びます。 教科書は、留学の一年が終わり、お別れパーティーまでを扱っていますが、初級では、ここでは(L9まで)進んで修了です。

実際に使える身近な表現を学んだ後に、文章の規則性に気づく、このプロセスを大事にして文法を学びます。まずは表現を学び聞き、声に出して体験学習し、文法へ。すべて、ペアかグループワークとなります。ドイツ語と取り組みながら、ランデスクンデ(文化や習慣)も学びましょう。

なお、初級では、教科書のL6から始めますので、L1-L5を、すでにドイツ語入門、あるいはドイツ語 で履修済みであることが、履修必須条件です。履修済みでない方はまず、入門クラスでL1-L5を学んでください。

到達目標

L6では、電話で待ち合わせ場所や時間を相談する表現を学びます。その際、前置詞のトレーニングをします。

L7では、去年したこと、昨日したことなど、過去の表現ができるようになります。

L8&9では、ドイツで最大の祝祭、クリスマスの様々な習慣をドイツ語で表現したり、日本の大晦日や新年についての表現を学んで、ドイツと日本の間の異文化理解への一歩を踏み出すこともできるようにします。

留学生の方々も自国の祝祭文化と比較してみてください。自国の文化を表現することは意外に難しいのです。是非、この機会に、祝祭に関するドイツ語表現をマスターして欲しいと思います。もちろん、初級ですが、簡単な表現からはじめましょう。

提出課題

毎回の授業の復習として、教科書に添付されたワークシートはもちろん、教科書の内容を補うワークシートの提出が課題となります。週に一度の授業ですので、この課題提出は評価の重要なポイントとなります。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

提出物はメールに添付して、電子データで提出していただきます。添削して返却します。一週間後に締め切ります。自分はどこが分かっていないのか、よく復習してください。

評価の基準

平常点(提出物 - 30%) 30%
筆記試験(中間テスト - 20%、期末テスト - 20%) 40%
発音チェック(中間 - 15%、期末 - 15%) 30%

中間&期末、いずれも、発音チェックと筆記テストを行います。

欠席の知らせがある場合は、授業で使用したパワーポイントに音声をつけて配信します。このパワーポイントにおいて、課題についてもお知らせします。これらの資料を活用して、発音チェックを行ってください。日頃から発音していないと、会話はできないものです。

なお、テストとは、「学んだ表現・語彙の成果」を問うものであることを認識してください。つまり、最も今に即した、適切な表現は、教科書の中にあることを理解してください。スマートフォンで探した表現で答えてもそれは採用しません。

履修にあたっての注意・助言他

教科書(ワークブック付き)は必ず、早めに購入してください。大学で売り切れの場合には、出版社である三修社での購入がお勧めです。
https://www.sanshusha.co.jp/text/isbn/9784384123036/

アマゾンでの購入はお勧めできません。なぜなら、この教科書は20年以上もの間、時代に即した表現を取り入れるために、繰り返し改訂を重ねて来たため、オンライン上に複数の同名の教科書が存在しているからです。過去にも誤って過去の教科書を購入してしまった学生の方が複数いました。なお、出版社とアマゾンでの購入額は同額です。

教科書

・『自己表現のためのドイツ語1<プラス>』	板山真由美 垣路ウルズラ 本河裕子 吉満たか	三修社	12600	978-4-384-12303-6
-----------------------	------------------------	-----	-------	-------------------

参考図書

その他

<推高辞書・サイト>
アルロン強和辞典 同学社 / 辞書サイト glosbe

その他、ネット上には、様々な辞書サイトがあります。積極的に、スマートフォンやタブレットを用いて、意味を調べてください。ただし、表現に関しては、教科書の表現が最もドイツ人が普通に使う表現であり、それを学ぶことが何よりも優先されます。なお、自讀の単語リストを配信します。

授業計画

- L1-L5の復習 L6 「遠足に行こう」の座のページの語彙をまなぶ
- L6 遠足に行こう 「今日の日曜、時間ある？」 「～する気はある？」と誘う表現を学ぶ。
- L6 遠足に行こう 「何時にどこで待ち合わせる？」 前置詞を学んで場所を表現する。
- L6 まとめ
- L7 パーティーの後 「何を飲んだの？」habenを使って現在完了形で過去を表現する。
- L7 パーティーの後 「昨日何時に帰宅したの？」sein を使って現在完了形で過去を表現する。
- L7 まとめ
- 中間テスト
- L8 クリスマス ドイツのクリスマスの過ごし方1 クリスマスに関する語彙を学ぶ。
- L8 クリスマス ドイツのクリスマスの過ごし方1 (クリスマスの)買物物の仕方の独自の表現を学ぶ。
- L8 クリスマス ドイツのクリスマスの過ごし方2 贈り物のシーズン。「～に・・・を贈る」の表現。
- L9 大晦日の晩 ドイツの大晦日の(ジルベスター)晩の過ごし方。
- L9 大晦日の晩 日本の大晦日の(ジルベスター)晩の過ごし方。
- L9 大晦日とお正月 日本の年末年始の過ごし方を表現し、相手に伝えられるようになる。
- まとめと期末テストの準備

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
○ キ:その他(A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

ペアワークを基本にしています。

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

復習を重視します。復習プリントを必ず課題とします。それが次の授業への理解に繋がります。

音声をダウンロードして繰り返し聞く。これだけでかなりドイツ語は上達します。配信されたパワーポイントで発音練習して復習し、次の授業へとつなげましょう。新しく学んだ単語を書き出すなど、いろいろな方法を取り入れてみましょう。

毎回4時間程度の復習をよろしくお願いします。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

ドイツは経済的にも政治的にもEU・ヨーロッパの最も重要な国の一つです。

ドイツ語を学ぶことは、ヨーロッパの理解を深め、国際的な視点を持つことに繋がります。

また語学の基礎固めは、自己の学びの方法論の確立にもなるでしょう。

初級段階での、友人との約束の仕方、過去に何をしたかの表現ができるようになります。異文化理解へも一歩を進めます。クリスマスと新年の過ごし方を、日独で比較し、ドイツ語で表現できるようになれば、単位認定です。

パートナーとの対話中心に進めます。他者との会話を通じてコミュニケーション能力を培う良い機会です。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

感染対策を取りながら対面授業を行います。コンピューターを駆使しての授業になりますので、自由に椅子を動かしてというアクティビティを駆使することはできませんが、ペアワーク、グループワークは可能です。教師が巡回し発音のチェックをします。発表の機会もつくります。

また、授業開始直後に、Teams のクラス編成を行いますので、クラス承認申請を忘れず行ってください。テストは原則、Teams の課題で行う予定です。

実務経験の有無及び活用

備考

授業には継続して出席することを心がけてください。毎回出席し、発音し、表現し、文法を学ぶ、日々の積み重ねによってしか、語学の上達はありません。受講生の理解度に応じて、授業の進度を調整したり、授業や課題の内容を変更する場合があります。全体として、発音を重視しますので、授業中の発音練習・会話練習に積極的に参加してください。